公益財団法人 放送文化基金
平成24年度 事業計画
(自 平成24. 4. 1～至 25. 3. 31)

平成24年度は公益財団法人に移行した2年目であり、その事業計画は昨年と同様に「1 助成事業、2 表彰事業、3 支援活動事業」の3本の柱に沿って取り組むものとする。またこれらの事業活動から得られたさまざまな成果については、よりいっそう積極的に公表・公開につとめ、放送文化の発展向上に向けた事業運営を展開していく。

1 助成事業

公募により、放送に関する技術の研究開発、放送に関する人文社会、文化的な調査・研究や文化事業に対し、助成を行う。

このほか、3月の「助成金贈呈式」では、近年、助成したプロジェクトの中から、視聴者の関心の高いテーマや時宜を得たテーマをとりあげ、研究報告会を実施する。

助成対象を決定したときは、その対象者とテーマを記者発表し、同時にホームページで公表する。その後得られた開発や研究の成果については、ホームページ上でPDF等により、広く紹介する。

予 算 6, 064万円

2 表彰事業

視聴者に感銘を与えた優れた番組と、放送文化および放送技術に関する著しい貢献に対し表彰を行う。

予 算 2, 748万円

(1) 放送文化基金賞

全国の民放、NHK、番組制作会社を対象に、広く応募を募り、つぎの2部門を表彰する。

また、「放送文化基金賞」を決定したときは、その受賞作品、受賞者、選考理由等を記者発表し、同時にホームページで公表する。

○ 番組部門

前年度に放送されたテレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4分野の番組を対象とする。

番組の表彰（本賞、優秀賞、各番組賞）計15本以内
個別分野賞（演技賞、企画賞、演出賞等）計5本以内

○ 個人・グループ 部門

つぎの2分野で、おもに前年度に顕著な業績をあげた個人またはグループを対象とする。

放送文化・・・放送界に新風を吹き込み、新生面を開拓した個人またはグループ 3件以内

放送技術・・・技術の開発や放送現場での工夫・考案で効果をあげた個人またはグループ 3件以内

(2) 他の賞への参加

国際コンクールである「ABU賞」（主催 アジア太平洋放送連合）と「日本賞」（主催 NHK）に参加し、優れた番組や企画にそれぞれ賞金を贈呈する。

ABU賞・・・優れた番組の表彰（ABU賞全体へのスポンサーとして）

日本賞・・・教育に役立つテレビ番組の優れた企画を表彰

3 支援活動事業(制作者フォーラム)

放送に携わる若手制作者の人材育成を支援する施策として、全国を4地区に分け、各地区の制作者が組織の枠を越えて交流を図る「制作者フォーラム」を全国4都市（仙台、富山、広島、福岡の各市）で開催する。

予 算 580万円

4 広 報

広報誌（放送文化基金報「HBF」）を年2回、春と秋に刊行し、基金の1年間の活動計画やその活動状況を広く紹介するため、印刷物として作成、関係先へ配布する。

また、ホームページでは、より最新の情報掲載につとめ、助成によるシンポジウムの開催案内や成果物刊行の紹介などを行う。助成対象と表彰対象のデータベース化を推進し、積極的な活用を図る。

予 算 345万円